

# 2022（令和4）年度 大阪府内地域連携プラットフォーム 上半期（4月～9月）事業報告

## 1. 取組報告

※大学コンソーシアム大阪会員大学とは、  
大阪府内地域連携プラットフォーム形成大学を指す。

### 課題1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

月	会議	行事等
4		HP オープンキャンパス情報の常時掲載
5	第1回推進委（30日）	
6		共通大学案内ブックレットの作成・配布（7万部） 大阪の大学「学び」WEB フェアの常時掲載
7	第1回部会（25日）	
9		高校生応援プロジェクトの開催（HP）

取組1 高大連携フォーラム [https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai\\_st/forum/](https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_st/forum/)

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高大双方が高大接続の大きな環境変化に関する情報を共有している。</li> <li>・ 高大接続の諸問題を高校と大学が対等な立場で継続的に検討している。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用割合：会員大学数の60%以上の参加大学数／各年</li> <li>・ 参加者比率：大学と高校からの参加者数が同程度／計画期間内</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催回数：1回以上／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回を10月13日に開催予定</li> </ul>

- ・ 大阪府内の高校、大学における喫緊の課題をテーマに取り上げ、情報共有や効果的な連携方法について模索する場として「高大連携フォーラム」を開催している。
- ・ 今年度は「高大接続からみた探究活動」をテーマに、オンラインにて2回開催予定としている。

#### ＜第1回（予定）＞

テ ー マ	高大接続からみた探究活動
開催日時	2022年10月13日（木）18：00～19：30
講 演	高大連携は大学負担？ ～高校における探求学習の事例から考える、サステナブルな高大連携の具体的な方向性～ 田中 悠樹 氏（株式会社 Study Valley 代表取締役 CEO）

#### 取組2 会員大学情報の発信

オープンキャンパス情報：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/oc/>  
 大阪の大学「学び」WEB フェア：<https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/webfair/>  
 高校生応援プロジェクト：[https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/study\\_project/](https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/study_project/)

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生のニーズが高い情報を厳選して会員大学から収集している。</li> <li>・ 高校生に届きやすい方法で会員大学情報を発信している。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用割合：会員大学数の80%以上の大学数／各年</li> <li>・ ホームページの該当ページの閲覧数：倍増／計画期間内</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施回数：1～2回／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3回実施（オープンキャンパス情報、学びWEB フェア、高校生応援プロジェクト）</li> <li>・ 会員大学によるHPの活用割合：100%（39/39校）</li> <li>・ 高校生カテゴリページ閲覧数：3,100回（9/10までの集計）</li> </ul>

#### 【共通大学案内ブックレットの作成・配布】

会員大学の魅力を広く発信するために「共通大学案内ブックレット」を作成し、学生が自大学の魅力の紹介や、会員大学の学生による座談会記事を掲載するなど、内容の充実に努めた。  
 ブックレットは、大阪府教育委員会等や会員大学の高校訪問時での配布などの協力を得て、これから本格的に進学先を検討する高校2年生を対象に約7万部配布した。

【大阪の大学「学び」WEB フェア】

会員大学の魅力発信の取組の一環として、大学コンソーシアム大阪のホームページで会員大学合同の説明会を実施し、情報を常時掲載する形としている。

【高校生応援プロジェクト（旧称：高校生「学び」応援プロジェクト）】

大学コンソーシアム大阪のホームページで、会員大学の「学び」に関する動画コンテンツを集約したページを設置した。今年度は22校からの動画提供を受け、9月中旬を目途に公開予定である。（昨年度は19校の掲載実績あり）

【高校生の進路検討に関するニーズ調査の実施】

高校生の進路検討にあたっての動向や会員大学の提供情報などに関する要望等の把握を目的に、大学コンソーシアム大阪のホームページにおいて実施した。

今回は「共通大学案内ブックレット」の内容に関するニーズ把握も組み込み、集約後、会員大学と共有しながら今後の提供情報の精査・検討に活用する予定である。

※上記の取組は、私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）の加点に向けた取組とも連動している。

大阪の大学「学び」WEB フェア HP



共通大学案内ブックレット



## 課題2 単位互換プログラムのさらなる充実

月	会議	行事等
4		前期開講（センター1科目）
5	第1回推進委・単互実務委合同会議（20日）	
7	第1回部会（7日）	
8		追加募集科目 出願開始（25日） 集中科目開講（センター1科目）
9		後期開講（センター10科目）

取組1 単位互換事業 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/tg/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター科目と各大学が担当するオンキャンパス科目の役割やねらいが明確になっている。</li> <li>・各大学の強み、ネットワークを活かして「大阪の特徴・魅力」を総合的に学べる機会を提供している。</li> </ul>
数値目標	・学生送り出し校数：包括協定校の60%以上の大学数／各年
活動指標	・実施回数：1回／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回実施</li> <li>・学生送り出し校数：包括協定校の52.6%（最大20/38校）</li> </ul>

包括協定校数が2022年度現在で大阪信愛学院大学、大阪体育大学、宝塚大学が新たに参画し、38校（大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学1校として計上）となった。

さらに、6月には南大阪地域大学コンソーシアムとの広域単位互換実施に関する協定を締結し、今年度は各コンソーシアムから1科目ずつ提供している。

### 【センター科目】

- ・科目数は、後期に新規包括協定締結大学による1科目、広域単位互換科目（南大阪地域大学コンソーシアム提供科目）の1科目が加わり、計12科目となった。
- ・出願者数は前年より大幅に増加して559人、前年比118.6%となった。

### 【オンキャンパス科目】

- ・科目数は、新規の包括協定締結大学からの提供科目も加わり、計367科目となった。
- ・出願者数は前年より増加して259人、前年比155.0%となった。

### 《実績（速報値）》

- ・2022年度は9月20日現在、受講許可者数を示す。
- ・2022年度は協定校として大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学はそれぞれ1校として計上。

		2021	2022	当年-前年	前年比
センター	科目数	11 ※うち2科目は開講中止	12	+1	—
	出願校数	22	20	-2	
	出願者数	471	559 ※うち南大阪4人	+84	118.6%
オン キャンパス	科目数	343	367	+24	—
	出願校数	17	18	+1	—
	出願者数	167	259	+92	155.0%

### 課題3 キャリア教育プログラムの充実と支援体制の強化

月	会議	行事等
5	第1回インターンシップ推進委(11日)	就業体験型 学生向け説明会(11日) 就業体験型 学生出願期間(11日～27日)
6		就業体験型 面接・選考(5日)
7	第1回キャリア支援推進準備委(12日)	就業体験型 事前研修(3日) 第1回大学等教職員向けセミナー(20日)
8	第1回部会(2日)	就業体験型インターンシップ実習期間(～9月中旬まで)
9	第2回インターンシップ推進委(7日)	就業体験型 事後研修・交流会(25日) プロジェクト型インターンシップ(舞洲)実習期間(19日～2023年2月4日) 第2回大学等教職員向けセミナー(21日)

取組1 就業体験型インターンシップ <https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/intern/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加した学生が社会人としての心構えや「働くこと」についての理解を深め、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。</li> <li>留学生、障がい学生、社会人学生など多様な学生と社会をつなぐ機会となっている。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生送り出し大学数：会員大学数の60%以上の参加大学数/各年</li> <li>参加学生数：150人以上/各年</li> <li>受入企業数：100社以上/各年</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施回数：1回/各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回実施(詳細は下表のとおり)</li> </ul>

《実績(速報値)》

	出願者数	マッチング者数		エントリー数	マッチング数
大学数	19校	17校	受入企業数	93社	60社
人数	162人	140人			

- ・前年度の出願者数154人に対し、今年度の出願者数は162人で微増となった。
- ・一部のプログラムはコロナ禍の影響からオンラインを活用するも、対面による実習を中心に実施した。
- ・受入先は既存の受入先のほか、大阪産業大学からの紹介により、計93社(推薦枠を含む)よりエントリーがあった。コロナ前より減じてはいるものの、多くの企業で対面プログラムを実施いただくなど、学生の学びや体験の機会確保に努めた。

取組2 プロジェクト型インターンシップ <https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/intern/project/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加した学生が現場での経験により、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。</li> <li>学生による提案内容が連携先企業をはじめ、社会的に評価・関心を高めている。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数/各年</li> <li>参加学生数：30人以上/各年</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム本数：2件以上/各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>2件実施予定</li> <li>舞洲スポーツイノベーションプロジェクト(2022年9月～2月)(参加者数：7大学17人)</li> <li>起業インターンシップ(2023年3月予定)</li> </ul>

## 《舞洲スポーツイノベーションプロジェクト》

日 時	2022年9月19日（月）～2023年2月4日（土）
場 所	キャンパスポート大阪他（オンライン併用）
共 催	舞洲プロジェクト（大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪、大阪市）
ファシリテーター	上原 光徳 氏（舞洲プロジェクト人材育成事業担当）

- ・課題解決型に特化した大学コンソーシアム大阪ならではのプログラムとして、「舞洲スポーツイノベーションプロジェクト」および「起業インターンシップ」の2件を実施する。
- ・舞洲スポーツイノベーションプロジェクトでは、大阪市を本拠地とする男子バレーボールチーム「サントリーサンバース」の事業課題に対し、ビジネスプランを提案・実施する「第2回舞洲スポーツビジネスコンテスト」に挑戦する。
- ・起業インターンシップは、10月以降の実施を視野に、大阪イノベーションハブ等との連携のもと、「アクティブ・ラーニングの具現化」、「with コロナ時代の新たな進路に関する意識啓発、やる気の創出」を目的に、起業という新たな視点から働くことを考える機会を提供することを旨とする。



舞洲スポーツイノベーションプロジェクト  
実習生募集チラシ

### 取組3 オンラインプログラム

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/intern/shukatsu-quest/2022/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参集型では難しかった遠隔地や特殊な現場など、これまで知る機会がなかった仕事について、学生が具体的なイメージを持つことができている。</li> <li>・ 学生が、プログラムを通じて企業活動の意義とそこで働く人の役割の一端を理解している。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年</li> <li>・ 参加学生数：60人以上／各年</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施回数：3回以上／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022年10月以降、4回実施予定</li> </ul>

- ・ 早期から実社会に触れることによる学修の深化や主体的な職業選択、また高い職業意識の涵養を目的として低年次学生を主対象に10月以降、全4回実施予定。
- ・ 『『働く』を考える』、「業界研究・職業理解」などをテーマとした1～2日間のワークショップ形式にて行い、必要に応じてオフラインも戦略的に活用する。
- ・ 大阪商工会議所との連携のもと、プログラムを通じて学生が大阪の産業構造を知り、府内の中小企業の魅力に触れる機会を提供する。
- ・ 登壇予定講師：
  - ・ トンガルマン（株）アカウントプランナー 大淵 まき子氏
  - ・ カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）SBカンパニー  
スターバックス運営本部 SB運営 近畿エリア ストアマネージャー 北岡 美緒氏
  - ・ 大阪商工会議所との連携プログラム（全2回予定）

### 取組4 キャリア支援事業

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時宜に応じたキャリア支援の課題に会員大学が連携して対応している。（就職に困難性のある学生に対する支援、学生の多様性に対する支援など）</li> <li>・ 就職支援のための関連団体との連携が拡大し、充実した支援を実施している。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催回数：1回以上／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回開催</li> </ul>



《実績》

回・開催月	テーマ・講師等・会場・参加人数
第1回 (7月20日)	「要支援学生の就職・キャリア支援について考える」 講師：京都大学 学生総合支援機構 准教授 村田 淳氏 パネリスト： ・四天王寺大学 キャリアセンター 永井 博嗣氏 ・阪南大学 学生相談室 長田 岳大氏 会場：オンライン（ZOOM） 参加人数：57人（うち会員大学16 大学28人）
第2回 (9月21日予定)	「要支援学生の支援機関について知る」 講師：株式会社エンカレッジ 山本 愛子氏（予定） 会場：オンライン（ZOOM）

【大学等教職員向けセミナーの開催】

- ・大阪府、南大阪地域大学コンソーシアムとの共催として、発達障がい傾向を有するなど就職困難性が高く、支援を要する学生に対する支援方法について理解を深めることを目的に、「大学等教職員向けセミナー」を開催した。

#### 課題4 国際交流の活性化

月	会議	行事
5	第1回推進委（16日）	
6		学生英語プレゼンコンテスト発表者募集開始（20日～）
7	第1回部会（14日）	
9		グローバル人材育成講座（5～8日） 学生英語プレゼンコンテスト運営メンバー募集開始

##### 取組1 他国・他地域との交流事業

目標	・明確な目的をもって、国際交流事業を実施している。 ・さまざまな交流プログラムを検討・実施している。
数値目標	・交流事業数：延べ5事業／計画期間
活動指標	・交流事業開催回数：1回以上／各年（再開以降）
実績	・交流再開に向けて検討中

- ・これまで大学コンソーシアム大阪で実施してきた台湾との交流実績を踏まえて、対象を教職員や学生に拡大し海外・他地域も含めた交流について、引き続き検討中である。

##### 取組2 グローバル人材育成講座

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/recruitment/>

目標	・日本の現状と課題を認識し、グローバルな社会課題の解決策を考えるきっかけとなっている。 ・多文化共生・異文化理解、ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）という価値観を育む機会となっている。
数値目標	・講座受講者数：延べ300人以上／計画期間内
活動指標	・講座開催回数：2回以上／各年 ・国際交流イベント開催回数：1回以上／各年
実績	2回実施予定 ・第1回：9月実施（受講者数：8 大学24人） ・第2回：2023年3月に予定

《第1回開催概要》

テーマ：大阪万博を舞台に、自分の「グローバル」を探求する  
 ～大阪・関西万博の自分ごと化を通じて、より良い未来づくりに活かすアイデアを共創する4日間～  
 日時：2022年9月5日～8日の計4日間  
 運営：一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GiFT）

取組3 学生英語プレゼンテーションコンテスト

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/global/event/>

目標	・学生が発表に至るまでにグループワークを重ね、プレゼンテーションスキルを学ぶ機会となっている。 ・国際共通語としての「英語」を用いて、国際的な共通課題の解決策を斬新な発想で考え、意見交換する機会となっている。
数値目標	・出場チーム数：15チーム以上／各年 ・参加者数：英語圏以外の留学生の参加増／計画期間内
活動指標	・開催回数：1回／各年
実績	・11月に開催予定（詳細は下表のとおり）

開催日時：2022年11月27日（日）10：00～17：00  
 会場：グランフロント大阪 北館タワーC8階  
 ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC01+C02  
 発表テーマ：2025年に日本国際博覧会（大阪・関西万博）が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ開催されます。本コンテストでは、大阪の学生が、未来社会をデザインする主役として、大阪・関西万博が掲げる3つのサブテーマのいずれかに繋がる、SDGs達成に向けた具体的な提案を発表してください。学生が協働し、実行可能なアイデアを盛り込んでください。

- ・高い国際意識やコミュニケーションスキルをもつ若者の育成に寄与することを目的に開催する。
- ・昨年同様、現在の情勢上、原則発表者や関係者のみに限定し、当日の様子をYouTubeでライブ配信し、オンラインによる観覧が可能なように機会提供する。
- ・なお、今回は「万博」をテーマに取り上げることから、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会より審査員派遣を予定、また昨年に引き続き留学生支援コンソーシアム大阪の後援による協力を得て開催する。



発表者募集チラシ

## 課題5 地域連携の促進による大阪・関西の活性化

月	会議	行事等
4		
5		
6	第1回推進委員会（14日）	地域連携学生フォーラム 学生運営メンバー募集 地域連携学生フォーラム 発表者募集開始（23日）
7	第1回部会（11日）	
8		学生運営メンバーキックオフミーティング（8日）

### 取組1 地域連携 学生フォーラム in Osaka

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/gakusei-frm/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に起こっている。</li> <li>・学生の提案事項や連携のノウハウが蓄積され、それらを会員大学や自治体が共有している。</li> <li>・大阪・関西万博に向けて、学生がつながり、関わる場となっている。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表大学数：会員大学数の50%以上の参加大学数／計画期間内</li> <li>・参加する行政・事業所数：15団体以上／計画期間内</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数：1回／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に開催予定（詳細は下表のとおり）</li> <li>・フォーラムに関連したワークショップを12月に開催予定。</li> </ul>

#### 【地域連携 学生フォーラム in Osaka】

- ・会員大学の学生自らが取り組む地域活動（ゼミ活動やボランティア等）について発表し、交流を深めることを目的としたフォーラムを継続開催している。
- ・今年度は計4事業の発表を予定しており、10月23日に開催予定である。
- ・現地以外でも広く参加いただけるよう、当日の様子をYouTubeによるライブ配信を行う。
- ・フォーラムの開催にあたり、有志による学生企画運営メンバーが8月から活動を開始し、会場下見を行うなどミーティングを重ね、現在準備を進めている。

開催日時：2022年10月23日（日）午後を予定

会場：グランフロント大阪 北館タワーC8階

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC01+C02

テーマ：「大阪の大学生発！私たちのアイデアでまち・地域を元気UP！」

#### 【地域連携 学生ワークショップ】

- ・昨年度、地域連携 学生フォーラムのスピノフ企画として地域連携活動に取り組む学生、また地域連携活動の興味・関心のある学生を主たる対象として、ワークショップを実施したが、今年度も引き続き開催検討を進めている。
- ・今回は近畿経済産業局へ講師を依頼し、万博と関連したテーマを設定のうえ、12月に開催予定である。

### 取組2 地域連携 情報交換会

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に生まれている。</li> </ul>
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加大学数：会員大学数の50%以上の参加大学数／計画期間内</li> <li>・参加する行政・事業所数：10団体以上／計画期間内</li> </ul>
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数：1回以上／各年</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在企画検討中</li> </ul>

- ・大学と自治体の地域連携担当者の意見交換や情報交換を目的に、地域連携活動に係る様々なテーマを取り上げ、下半期にオンラインまたは参集にて開催予定である。



## 課題6 研修による大学教職員の資質向上とネットワーク強化

月	会議	行事
4	第1回推進委（14日）	
6		初任者SD研修（第1回）（17日）
7	第1回部会（5日）	
8	第2回推進委（29日）	
9		初任者SD研修（第2回）（14日）

### 取組1 各種研修

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/schedule/>

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員大学のニーズに応じた研修を実施している。</li> <li>・研修講師を担える人材の育成が図られている。</li> </ul>
数値目標	・教職員送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年
活動指標	・実施回数：2回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者SD研修：3回実施予定</li> <li>・インストラクショナル・デザイン（ID）研修：オンデマンドで提供予定</li> </ul>

#### 【初任者SD研修】

- ・大学職員としての基礎知識（ビジネスマナー、高等教育の現状把握、所属大学の理解促進等）を学び、実際の現場で生かすことができる力を身につけることを目的に、講義形式の研修を今年度は3回にわたって行う予定としている。

#### 《実績（予定含む）》

回・開催日	テーマ	講師 (いずれも推進委員)	受講者数
第1回 (6月17日)	大学職員の心得を知り、 視野を広げる	岡本 千代恵氏 関西福祉科学大学 教務部	15大学 37人
第2回 (9月14日)	自分の大学を知ろう！	佐藤 浩輔氏 大阪体育大学 庶務部学長室担当	13大学 25人 (うち会員外2大学2人)
第3回 (12月2日：予定)	検討中	検討中	—



初任者SD研修（第1回）チラシ



初任者SD研修（第1回）の様子

**取組2 Salon De 大学コンソーシアム大阪 (SD 勉強会)**<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd/salon/>

目標	・参加者が主体的に情報交換や交流を行っている。
数値目標	・会員大学の参加率：会員大学数の60%以上の参加大学数／各年
活動指標	・開催回数：3回以上／各年
実績	・3回開催予定

・昨年度に引き続き「学生支援」をテーマに下記のとおり全3回の開催を予定し、現在準備を進めている。

## 《開催スケジュール（予定）》

回・開催月	テーマ・講師
第1回 (10月)	「メタバース」がもたらす教育方法の大転換 矢野 浩二郎氏（大阪工業大学 情報科学部 准教授）
第2回 (11月)	障害のある学生への学習支援・環境整備 山崎 めぐみ氏（創価大学 障害学生支援室長）
第3回 (2023年2月)	討議テーマを複数設定した意見交換会

**課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充**

月	会議	行事
6	第1回協議会 (21日)	
7	第1回分科会1 (29日)	
8	第2回分科会1 (26日)	公開講座 第1回 (26日)
9	第3回分科会1 (9日)	・公開講座 第2回 (9日)、第3回 (21日)、第4回 (30日) ・FD研修 (28日)

**取組1 学生ボランティアの拡充**<https://www.consortium-osaka.gr.jp/high/oc/>

目標	・事業の企画運営に学生が主体的に関わる機会が創出されている。
数値目標	・学生の参加数：各部会事業への企画・運営に関わった学生数延べ200人／計画期間内
活動指標	・既存事業やその他事業へ学生ボランティア参画：2事業以上／各年
実績	・3事業（地連学生フォーラム、学生英語プレゼンコンテスト、ACTによる学生座談会）

- ・地域連携や国際交流のイベント運営への有志学生の参画の他、2021年度より新たに学生ボランティアチーム「ACT」を発足し、様々な大学の学生が集いながら学生の自由な発想によるイベント開催に繋げている。
- ・コロナ禍で活動自粛を余儀なくされた学生がこの取組を通じて主体的に活動する面白さを発見する機会となり、さらに参画学生数、活動の質ともに拡充すべく継続予定である。

## ACTの活動の様子



## 取組2 連携調査・研究の実施

目標	・大学間、また産官学の連携による調査や研究が恒常的に実施されている。
数値目標	・連携調査・研究実施数 延べ15件／計画期間内
活動指標	・連携調査・研究テーマ数 2テーマ以上／各年
実績	調査：3テーマ（調査：薬物、高校生の進路検討に関するニーズ調査、リカレント） 研究：1テーマ 中期計画推進に係る提案型研究事業（2件程度採択予定）

- ・今年度の取組として3つのテーマ（新生対象薬物意識調査、高校生の進路検討に関するニーズ調査、会員大学のリカレントプログラムの実施状況等に関する基礎調査）の調査を実施した。
- ・2年目となる「新生対象薬物意識調査」は、薬物乱用防止のための啓発も兼ねて実施しており、調査結果から大学への入学段階において、薬物使用に関して甘い認識を持っている学生や薬物使用を現認している学生が一定数いることが把握できた。今後の方向性として、大学のみならず産業界、自治体と一体となった薬物乱用防止に関する啓発活動が求められており、今後検討を進めていく予定としている。

## 取組3 地域課題に対応した取り組みの推進

目標	・産官学連携による課題解決体制が整備されている。
数値目標	・実施事業数 延べ5事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 1事業以上／各年
実績	・3事業実施 （大阪府内地域連携プラットフォーム主催FD研修、公開講座、リカレントプログラム）

【大阪府内地域連携プラットフォーム主催の取組】 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/>

- ・今年度はFD研修、公開講座、リカレントプログラムの開催を進めている。
- ・FD研修では、「大学授業におけるICTの活用の方策」をテーマに取り上げ、9月下旬に開催を予定している（詳細は下表のとおり）。

### <FD研修>

開催日時	2022年9月28日（水）15：30～17：00
会場	ZOOM（オンライン）
テーマ	「ウィズコロナ時代のICTを活用した大学授業の新たな挑戦」
講師	大阪大学 サイバーメディアセンター 教授 岩居 弘樹氏

- ・公開講座では大阪の課題や注目度の高いテーマと大学の特色を掛け合わせ、リレー方式で開講した。

### <公開講座 スケジュール> ※すべてオンラインにて開催

回	開催時期	テーマ	講師
1	8月26日（金） 13：00～14：30	住み続けられるまちづくり	大阪国際大学 経営経済学部 経済学科 准教授 早川 公氏
2	9月9日（金） 13：15～14：15	世界遺産の未来 増え続ける「遺産」から世界をどう読み解くか？ ※四天王寺大学オープンカレッジと共催	四天王寺大学 人文社会学部 日本学科 講師 森嶋 俊行氏
3	9月21日（水） 15：00～16：00	スポーツビジネスの最前線	大阪体育大学 学長 原田 宗彦氏
4	9月30日（金） 17：00～18：00	「いのち輝く」を問う： 医療系大学が取り組む社会貢献とSDGs活動を考える	大阪医科薬科大学 社会貢献・SDGs推進室長・ 医学部胸部外科学教室 専門教授 根本 慎太郎氏
5	10月18日（火） 18：00～19：30 （予定）	賃金と物価 ーインフレは賃金上昇の特効薬となるのかー	大阪経済大学 経済学部 教授 高橋 亘氏

- ・リカレントプログラムの提供として、今年度は「ITスキル」の向上を目的とした現職の社会人向けオンラインプログラムを9月より約3か月間にわたり開講する。

開催日時：2022年9月中旬～12月下旬まで  
 講座名：「IT パスポート資格取得講座（オンデマンド講座）」  
 対象：現職の社会人  
 受講者数：6名

#### 取組4 大阪・関西万博との連携

目標	・万博への積極的な参画を通じて大阪・関西の活性化に寄与している。
数値目標	・実施事業数 延べ10事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 2事業以上／各年
実績	2事業実施 ・学生英語プレゼンテーションコンテスト（万博をテーマに）：11月開催予定 ・地域連携 学生ワークショップ（万博をテーマに近畿経済産業局と連携）：12月開催予定 ※別途、万博協会、万博推進局、近畿経済産業局と事業連携に関する意見交換を実施。

- ・大阪・関西万博開催まであと3年となる中、当プラットフォーム内外で連携の機運が高まっており、会員大学間や大阪府内地域連携プラットフォームの枠組みからさらにネットワークを広げた具体的な連携事業の創出に繋げている。